

7月1日  
開所

特集1

# 児童発達支援センター 『エール』開所します！

教育委員会、子ども未来部、健康福祉部の3つの部署にまたがる発達支援に関する機能を一つにして、子どもの発達を支援するため、高島市児童発達支援センター「エール」を開所します。



マスコットキャラクター  
「エールちゃん」

市は、心身の発達に支援を必要とする子どもたちが、家族とともに自分らしく安心して暮らせるまちを目指します！

## ▼児童発達支援センターとは

障がいの有無や診断に関わらず、発達に対してさまざまな不安や心配を抱える0～18歳の児童やその保護者に対して、その状況に応じて自立や社会参加のための相談、支援を行うことにより、児童の成長を応援する施設です。

## ▼一体化するJMSネット

- 市民や関係機関にとって、分かりやすい相談窓口になります。
- 乳幼児期から学齢期まで、切れ目のない支援をします。
- 教育、保健、保育、福祉などの専門職が連携し、多角的な視点から支援します。
- 分野を越えた連携が可能になります。

## ▼センターの位置

新旭町北畑45番地1  
(旧いきいき元気館)



## 「エール」は3つの機能を統合

- ①教育委員会（学校教育課）  
「ことばの教室（幼児対象）」  
「特別支援教育巡回相談」
- ②子ども未来部  
「カンガルー教室（療育教室）」
- ③健康福祉部（健康推進課）  
「発達支援チーム」

→子ども未来部  
「児童発達支援センター エール」に統合  
(※ことばの教室は、これまでどおり、安曇小学校・新旭南小学校・今津東小学校で実施します。)

## 「エール」の5つの機能と10個の“る”

- (1) 相談機能 …うけとめる、かंगाえる
- (2) 連携・調整機能…つながる、つなげる
- (3) 発達支援機能 …みつける、ささえる
- (4) 情報集約機能 …あつめる、ととのえる
- (5) 地域支援機能 …そだてる、みまもる

## 「エール」の2つの意味

英語の「エール (yell)」とは、「声援」や「励まし」の意味があります。がんばる子どもや保護者を、全力で応援するセンターを目指します。

また、フランス語の「エール (aile)」には、「翼」という意味があります。子どもたちがそれぞれの色に輝き、未来に羽ばたいていく姿をイメージしています。

## 「エール」のこれから

「エール」という名称に思いを託し、子どもたちや保護者、関係機関など、それぞれの思いに寄り添いながら個々の発達を応援していきます。

「うちの子、まわりの子とは少し違うかもしれない」「どんな関わりがよいか相談したい」「就学先をどのように選べよいかわからない」「どんな支援があるのか知りたい」など、お気軽にご相談ください。

高島市児童発達支援センター「エール」  
☎ (28) 7016